

松伏町立松伏中学校だより

<http://matsubushi.ed.jp/matutyu/>

翔べ！松中生

令和4年度 第6号 9月30日発行

「文化の継承 ^{たすき} ～想いの襷をつなぐ～」

校長 齋藤 明

秋のお彼岸が過ぎ、朝晩は少し冷える日も増えて秋の深まりを感じる季節となりました。さて、学校では9月中旬から新人体育大会予選会が開催され、陸上競技部・バドミントン部男子個人・団体、女子個人戦での県大会出場が決まり、卓球部・男子バスケットボール部・女子バレーボール部が代表決定戦進出、バドミントン部女子団体は大会途中で県大会進出まであと1勝、野球部の3位入賞となりました。また、水泳の県大会では8位入賞、文化的な部門では、吉川松伏英語弁論大会で2位（埼玉葛地区大会進出）と5位入賞を果たすなど、多くの団体・個人で素晴らしい成果を残すことができました。これも、学校総合体育大会等で3年生が築いてくれた活躍があったからこそ、1、2年生も「自分たちもやればできる！」と先輩達から学んでくれた結果だと思っています。ありがとう3年生！

松伏中学校が活躍している原動力は、素直で心優しい生徒が多いという伝統に支えられているからです。全校生徒250人程というのは、大規模校の1学年にも満たない人数です。単純に考えると生徒数の多い方が、得意な人・上手な人の数が多くて有利と感じるかもしれませんが、様々な活動を通して伸びる人というのは、間違いなく「素直な人」です。そして、心の優しさは活動する上で仲間を思いやれるわけですからチームワークの向上にも繋がります。そう考えると、皆さんの結果は偶然ではなく必然（実力）だったという事です。これからも「今の状況よりもっと良くしたい」と思って活動すれば、今以上の新しい松伏中学校の文化が生み出されていくはずです。今回はうまくいかなかった人も、まだまだ伸びしろがあるので、これからいろいろな場面で活躍できます。期待しています。

10月には体育祭や稲穂祭などの全校で取り組む学校行事があります。

体育祭では、単に勝敗だけでなく、3年生が中心となりカラー連合をまとめ、勝利に向かって力の限り1、2年生を導き、先輩後輩の良い関係を築き、チームを盛り上げ、体育祭を大成功させてください。また、3年生からリーダーシップの在り方など価値あることを学び、次年度に活かしていき、これからの松伏中をつくっていく一助としてください。

稲穂祭の合唱は、クラスや学年のまとまりがよく見える発表となります。日々の練習の積み重ねを通して、自分たちの歌にそれぞれの色が見えるように取り組んでください。また、学年ごとの発表では、1年生から3年生へと成長段階に応じた歌声や所作などしっかり身に付けてください。楽しみにしています。

全校で取り組む体育祭や稲穂祭の目的は、クラスの取組を通して、それぞれの想いや願いを駆伝の襷を繋げていくように、学校全体で良い文化や人間関係を築いていくことです。まさに「**One for all All for one**」「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」です。

さあ、まずは体育祭です。自分の持てる力を全力で出しきり、心に残る素晴らしい活動になることを期待しています。輝け！松中生！